

平成19年年頭挨拶

飛翔 CONYX2007

～感謝の気持ち 素直な心

笑顔で取り組む コニックス～



代表取締役社長 吉田治伸

年頭に当たり、皆様方の益々のご健勝を心よりお慶び申し上げます。

万博の受契、会長の叙勲と数々のエポックメイキングな年であった50周年から瞬く間に1年が過ぎました。残念ながら、売上増とはまもりませんでした。新たに指定管理者は2件ほど獲得見込みであり、大型物件も頂戴いたしました。いくつかの見直しも獲得する事ができました。これもひとえに社員の皆様のお蔭と心から感謝申し上げます。

この1年を振り返ってみますと、昨年とは土台固めの年と位置づけた1年でありました。年明け早々より始まった企業理念再構築は、8月にクレド配布、11月にQC発表会という形で披露する事ができました。忙しいなか、知恵と汗を出してくれた社員の皆様には大変感謝致します。

クレドには私の心の100%を記載しましたが皆様どのように感じたのでありましょか？「良い事が書いてある」という人もいれば「だから何」なんて人もいるのではないのでしょうか？コニックス50年の集大成のようなつもりで作ったクレドですが、残念ながら現時点では「単なるおしつけ」「単なる言葉」にすぎないかもしれません。

クレドが「魂」を持つのは、会社が社員の皆様と共にクレドの「規律」を守って行動し、「感動」や「信頼」や「ありがとう」を頂戴し、社員の皆様の心に「喜び」や「やる気」となって突き刺さった時です。

今年1年本腰を入れてそんな経験が味わえるよう活動していきたいと思っています。今年も創立記念日には、たくさんの社員の皆様を表彰し、たくさんの努力の結果をお伺いしたいと思っています。是非よろしく願い致します。

私の夢は、当社の社員がたくさんの「信頼」や「ありがとう」を頂戴して「喜んで」いる姿を見て私も同様に「喜ぶ」事です。社員の皆様がたくさんの「うれしい」や「楽しい」を経験した時、ほんの少しでもコニックスに感謝してもらえれば・・・、そんな会社になりたいと思っています。

世の中は景気回復などと言われておりますが、景気が良いのは、リストラが一巡し、社員を大幅に減らした大企業だけで、我々のようなサービス業にまで恩恵にあずかるのはまだ時間がかかるようです。また、ここ数年で老朽化したビルの新築移転は数多くあり、また新たな競争が始まります。50年の長きにわたってこの地域の代表的な企業や施設を管理させていただいている当社にとって大変苦難の道ですが、所詮1番でなければ維持できないと気づいただけの話であります。地域1番のサービス（営業面、サービス面）ができている現場が多くある当社にとってピンチはチャンスであると肝に銘じ明るく頑張っていきたいと思っております。現場の皆様も地域1番の会社に勤めているプライドと「本当に1番のサービスを提供しているか」の確認と自己研鑽に努めていただきたいと思います。お願い申し上げます。

「決めるのはお客様」「業績を上げるのは社員」という言葉のもと私も今年1年「笑顔」「元気」「愛情」なんて言葉をモットーに頑張りたいと思っています。

また新たな第一歩を進む今日、お客様、社員、会社が飛躍し、共に幸福になる事を祈願し、またそうなるために最大限の努力を行う事をお誓いして年頭の挨拶といたします。